

令和5年度榎原市一般廃棄物処理事業（報告）

令和5年度の榎原市一般廃棄物処理事業について、以下のとおり報告します。

1. 処理状況

本市の令和5年度における廃棄物の排出量・処理量は以下のとおりとなりました。

家庭生活から排出された廃棄物と、事業に伴って排出された廃棄物を合わせた全体の排出量（総排出量）は38,988tであり、これは年度当初に策定した実施計画の計画量と比べ、約1,849t下回る結果となりました。

廃棄物の種類別に排出量の経年変化を見ると、令和5年度は令和4年度と比べると総排出量では約1,160t減少しました。

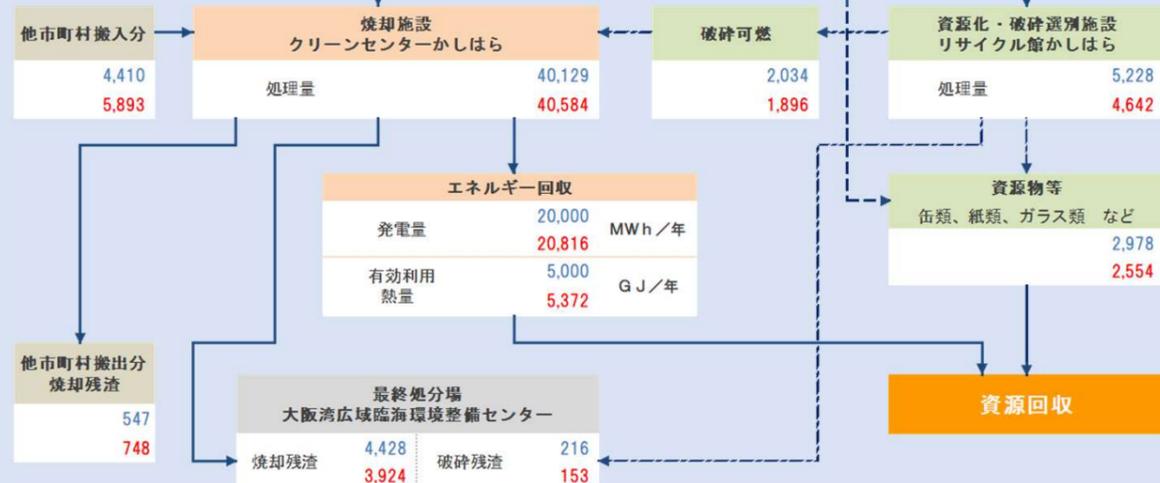
総排出量をその年度の人口と日数で除した値（1日一人あたりのごみ排出量）は、令和5年度は897g/人・日となり、令和4年度と比べると23g減少し、全国平均（880g/人・日）と比べると17g上回る結果となりました。

令和5年度における廃棄物排出量の計画量と実績量の比較

総排出量							
家庭系廃棄物				事業系一般廃棄物			
27,280				13,557			
25,414				13,574			
可燃ごみ	不燃物、粗大ごみ	資源ごみ	集団回収	可燃ごみ	不燃物、粗大ごみ	資源ごみ	食品リサイクル
20,734	2,554	2,592	1,400	12,951	68	14	524
19,788	2,236	2,268	1,121	13,007	124	19	425

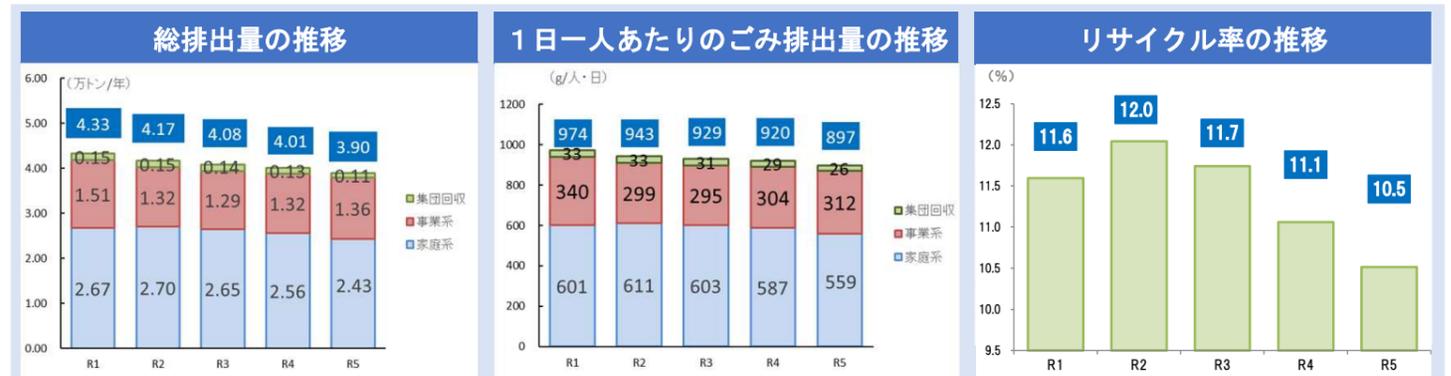
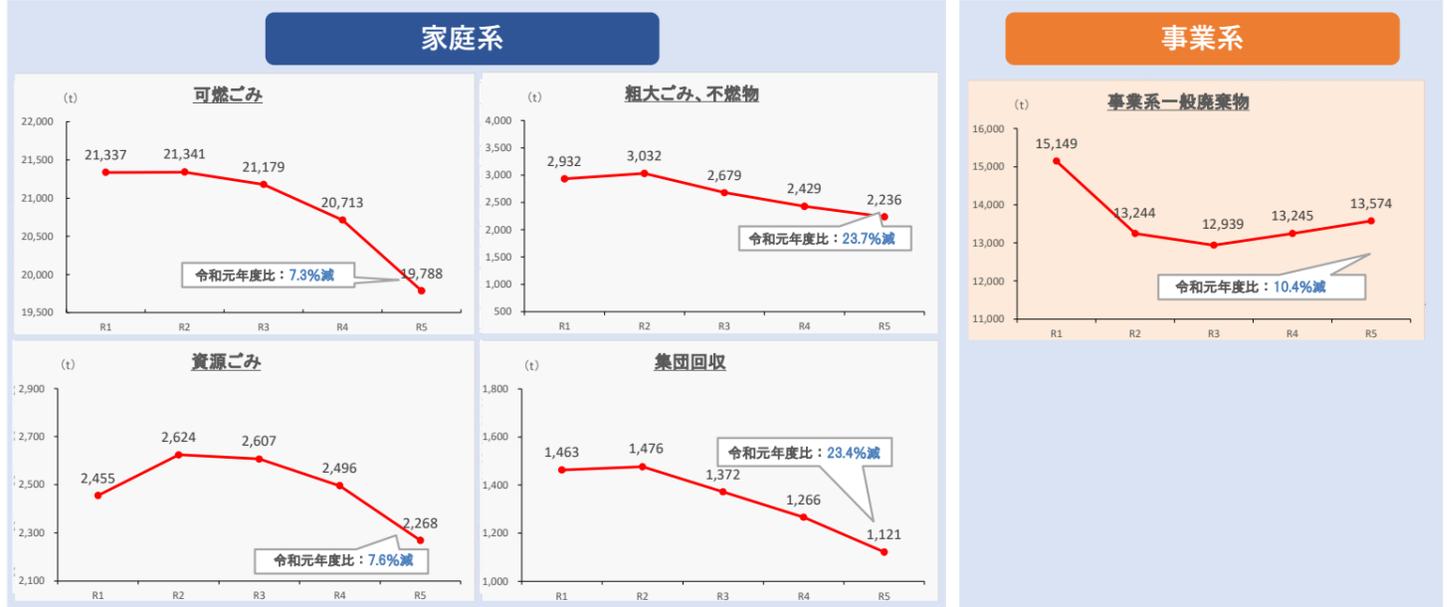
上段：計画量(t)
下段：実績量(t)

収集	可燃性粗大	カン・ビン	可燃性粗大	カン・ビン
20,312	1,667	1,001	35	3
19,407	1,525	956	74	4
持込	不燃物 不燃性粗大	ペットボトル・プラスチックボトル	不燃物 不燃性粗大	ペットボトル・プラスチックボトル
422	859	155	33	1
381	681	154	50	1
有害物	新聞、雑誌、ダンボール	新聞、雑誌、ダンボール	新聞、雑誌、ダンボール	新聞、雑誌、ダンボール
28	1,430	1,430	10	10
31	1,153	1,153	15	15
廃食用油、小型家電 (BOX回収分)				
6				
5				



○各項目の数値は四捨五入しており、総数と個々の値の合計は一致しないことがあります。

廃棄物種類別の排出量の経年変化（令和元年～令和5年度）



1日一人あたりのごみ排出量の全国平均との比較

	家庭系	事業系	集団回収	全体
全国*	587	260	33	880
榎原市	559	312	26	897
差 (榎原市-全国)	-28	+52	-7	+17

*全国値は令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査結果より引用

2. 施策の進捗状況

(1) 排出抑制・再利用

基本方針： 排出抑制及び再利用を優先した3Rの推進

施策1 3R普及啓発事業

3Rに関する有用な情報を適切なタイミングで市民に提供します。処理施設の見学受入や出前講座の実施、不用品の還元イベントやリユースコーナーを常設し、環境について考える機会を提供します。

	R3	R4	R5
見学受入、出前講座(団体)	26	8	17
リユースマーケット等参加人数(人)	872	1,980	4,350
ごみ分別アプリDL累計数(件)	16,377	20,730	24,530

施策2 処理手数料制度運用事業

ごみ処理費用の一部を排出者の負担とします。家庭系の可燃ごみに係る処理手数料は、有料の指定ごみ袋制度を運用します。

	R3	R4	R5
ごみ処理手数料収入(千円)	350,112	349,701	351,365
内、ごみ袋販売収入(千円)	181,597	178,697	177,548
年間ごみ袋供給枚数(万枚/年)	513	522	522

施策3 生ごみ減量化事業

減量化に関する手法や資源化に関する情報を発信し、生ごみの発生抑制とリサイクルルートへの誘導を図ります。市関連施設においても、生ごみ減量・リサイクルに取り組みます。

	R3	R4	R5
食品リサイクル量(トン)	429	408	425
生ごみ処理機器購入補助(件)	23	11	11

(2) 再生利用

基本方針： 有用資源の回収強化及び循環利用の促進

施策4 ごみ搬入受付事業

ごみ搬入時に、分別方法、持込方法、適正処理方法を案内するとともに、資源化促進の働きかけを行います。

	R3	R4	R5
クリーンセンター受付回数(回)	51,417	50,074	49,342
リサイクル館受付回数(回)	41,379	40,656	39,799

施策5 資源物処理事業

搬入された不燃ごみ及び資源物は、市処理施設で前処理を行い、適正なりサイクルルートと財源の確保に努めます。資源物の回収強化に向けた広報啓発の充実を図ります。

	R3	R4	R5
資源回収量(トン)	2,987	2,767	2,554
資源化売却益(千円)	77,188	102,368	80,813

施策6 集団回収促進事業

多くの市民が活動に参加できるような環境づくりを進めます。活動の普及促進に努め、併せて紙資源の循環強化を図ります。回収した資源物の重量に応じて市から報償金を交付し、活動を支援します。

	R3	R4	R5
登録団体数(団体)	221	221	212
資源物集団回収量(トン)	1,372	1,266	1,121

(3) 適正処理

基本方針： 効率的で適正な処理システムの構築

施策7 廃棄物等収集事業

地域特性を踏まえ、効率的にごみを収集します。ごみ排出時における利便性を高めるため、「ふれあい収集」や「リクエスト収集」を実施します。

	R3	R4	R5
可燃ごみ収集量(トン)	20,811	20,340	19,407
不燃物・粗大ごみ収集量(トン)	1,680	1,435	1,294
資源ごみ収集量(トン)	2,504	2,399	2,183

施策8 一般廃棄物収集運搬業許可事業

許可制度の運用に当たっては、廃棄物処理法に基づき、的確な審査を行い、適正に運用します。搬入物検査を実施し、適正処理を確認します。

	R3	R4	R5
許可業者数(社)	29	27	26
搬入物検査違反率(%)	13	0	0

施策9 クリーンセンターかしはら運営管理事業

長期包括運営委託事業を実施し、適正・安全な処理に加え、効率的な運営を実施します。焼却余熱を利用した発電等によりエネルギーの有効活用を推進します。

(クリーンセンターかしはら)	R3	R4	R5
処理量(トン)	43,034	40,871	40,584
突発故障による休止日数(日)	0	0	0
発電電力量(MWh)	23,241	21,387	20,816

施策10 リサイクル館かしはら運営管理事業

長期包括運営委託事業を実施し、適正・安全な処理に加え、効率的な運営を実施します。3Rの啓発拠点としての役割を強化します。

(リサイクル館かしはら)	R3	R4	R5
処理量(トン)	5,348	5,011	4,642
突発故障による休止日数(日)	0	0	0

施策11 不法投棄対策事業

巡回パトロールの実施や防止看板の設置等を行い、不法投棄されにくい環境づくりに努めます。地域の力を活用した取組を推進します。

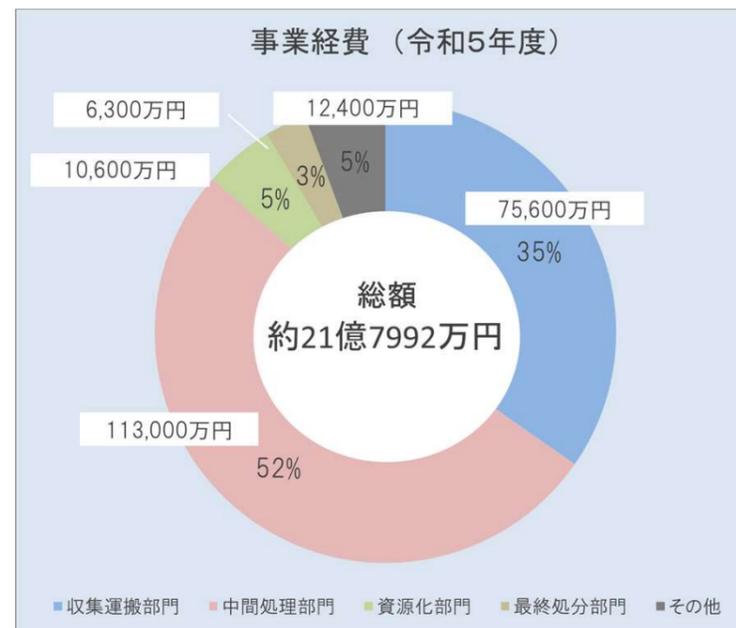
	R3	R4	R5
不法投棄件数(件)	97	83	88
不法投棄防止看板配布枚数(枚)	16	6	10

3. 事業経費(し尿処理事業を除く)

令和5年度一般廃棄物処理事業経費

約 21 億 7992 万円/年

(総排出量 38,988t → 1tあたり約 55,900円)



(R3年度:約21億700万円、R4年度:約21億988万円)

収集運搬部門

・廃棄物を収集し、処理施設へ運搬する経費
約 7 億 5,600 万円/年
(収集運搬量22,884t → 1tあたり約33,000円)

中間処理部門

・焼却処理、破碎処理に要する経費
約 11 億 3,000 万円/年
(処理量42,949t → 1tあたり約26,300円)

資源化部門

・資源物の選別・圧縮・保管に要する経費
約 1 億 600 万円/年
(資源化量2,282t → 1tあたり約46,500円)

最終処分部門

・焼却灰や不燃残渣等の埋立処分に要する経費
約 6,300 万円/年
(処分量4,077t → 1tあたり約15,500円)